第３号

農　場　通　信

農業活動での汗を感動へ　～実習による成就感と達成感～

■溶接技術を習得（環境土木科）

平成２９年１２月６日、環境土木科は山梨県鉄構溶接協会から講師をお招きして、１年生が「アーク溶接」、２年生が「ガス溶接」の講義および実習を行いました。ほとんどの生徒が初めての体験で慣れない手つきで実習をしていました。溶接に興味を示す生徒が多く、資格を取得したいと申し出る生徒が多くいました。そこで急遽、他校で行われている資格取得の講習会に参加を依頼し、溶接の資格を取得した生徒がいました。

学校での講演会により、生徒が資格取得への意欲を高め、安全な技術の重要性や資格の有用性を学ぶことに繋がっていくと感じました。

■林業ロープワークを学ぶ（森林科学科）

森林科学科はキャリアビジョン形成支援事業の一環として森林工房セブリ舎の佐久間様のご指導による、ロープワーク実習を行いました。林業において、ロープは軽く、持ち運びがしやすい道具であり、様々なことに活用できることから毎年、実習を行っています。

今回はぶり縄という木登りのためのロープワークを中心に学び、わからないところは質問をしながら実習に取り組んでいました。最初はどこにひもを通すのか戸惑いながら行っていましたが、わかりやすい指導のおかげでしっかりと技術の習得ができました。また、現在の林業業界についてのご講義もしていただき、生徒それぞれが進路を考える良い機会となりました。

■ファーマーからマーケターに（システム園芸科）

１月 12 日、19 日、システム園芸科３年生は山梨学院大学現代ビジネス学部　伊藤洋晃教授によるマーケティング講座を受講しました。現在は、農家は農産物を生産するだけでは無く、モノをどうやったら売ることができるかという能力が必要になることから同講座を毎年、開講しています。

授業では、「製品と商品の違い」「マーケティングの４P」「便益の束」など、普段の授業では学ぶことができない内容でした。マーケティングの基礎知識を学び、生徒は農業に従事するファーマー（farmer）から、この授業ではマーケティングに携わるマーケター（marketer）の顔つきになっていました。伊藤先生の授業は板書もノートに書くことはなく、考えさせて学ぶ授業内容でした。モノを売るための方法を楽しく考え、学ぶことができました。

■寒仕込み味噌づくり（食品科学科）

１月、２年生は総合実習でみそ造りに取り組んでいます。米麹は農林高校の黎明米を利用し、蒸した米に種麹をつけて、３０℃で２日間培養して作りました。２月には北海道産の大豆（とよまさり）を原料に仕込みをします。みそに関与する微生物がコウジカビの他に「植物性乳酸菌」と「耐塩性の酵母」が関与していることを学びます。手作りみそでは添加しなくても自然に繁殖しますが、優良な微生物を利用した方が汚染が少なくおいしい味噌ができます。今年度は秋田のメーカーより購入した。テトラジェノコッカス属乳酸菌と秋田香酵母・「ゆらら」を仕込みに使います。１０月にはおいしい味噌が完成します。楽しみにしてください。

また、２月８日、１年生は地域の専門家に学ぶ講座で「マジパン細工」を受講します。講師は株式会社「清月」の中村工場長と本校の先輩槌屋さんです。現場の食品製造の技術を習得します

■フラワーデザイン講座を開催（造園緑地科）

造園緑地科は、専門家に学ぶ学習で「フラワーデザイン技術」を学びました。この講座は、数年前から２年生を対象に、フラワーデザインの基礎知識を学ぶ学科と実際に花を生け込む実技に分けて、分かり易く教えていただいています。

講座を受けた生徒は、花に対する印象が変わり、生徒個々が自分の美的センスを磨き、アレンジ用のスポンジに色鮮やかな花を生けていました。受講した生徒は、「外国と日本のフラワーデザインの歴史や基本スタイル等を学び、簡単だと思っていたが、実際に花を生けてこの世界の難しさを感じた。花の見方を勉強したので、これからいろいろなところで注意して見てみたいと思った。また、講師の先生の知識が広く、とても面白く驚くことが多い時間だった。色彩やバランスなど見栄えを考えてデザインするところは造園と共通するところが多くあり、今後の学習に活かしたい。」などの感想がありました。

■地域活性化プロジェクト（農業クラブ）

今年度は甲斐市特産の里芋「やはたいも」での地域活性化プロジェクトとして、水田から畑への土地改良を行い、面積を増やして栽培を行いました。農ク役員の生徒たちは、１から自分たちの手で栽培し、収穫物を使った芋煮会を開催し、近隣住民の高齢者との交流を深めました。このような活動が認められ、山梨県内の小・中・高校生で、文芸・科学・音楽・芸能・語学などの課目や社会環境との関わりの中で、過去１年間にめざましい成果を収めた学校および地域のグループを対象にした「山人会賞」を頂くことができました。農業クラブの様々な活動を通して、生徒たちのやる気に満ちた顔や達成感で喜んだ顔がとても印象的な１年間でした。

【農場のひとこま】

資格を取得できることが、農業高校の魅力の１つです。１月末、資格取得の延べ人数は「４４７名」です。資格取得は、自分の学習目標や自信になりますし、他の人からもみても、その人が充実した高校生活を過ごしている姿を感じられます。チャレンジ精神を持って、資格取得に取り組みましょう！